

# 施策評価調書(内部評価結果)

整理番号 36

■ 総合計画(後期基本計画)

政策名	VI うるおい安全都市
施策名	⑧ 消防・防災体制の強化

所管部局	所管部局長の氏名
企画総務部	木村 嘉充
建設部	中西 和義
消防本部	河野 矢 秀

1 関連する個別計画 **PLAN**

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
京丹後市危機管理指針	地域防災計画や国民保護計画により対応を行っている自然災害や武力攻撃等以外の危機事象についての基本的事項について定めたもの	平成20年3月	平成19年度～	
京丹後市国民保護計画	大規模テロや武力攻撃等に際して、迅速かつ的確に国民保護措置を行うため、実施体制、避難や救援に関する事項、平素から備えておくべき事項などについて、定めるもの	平成19年2月	平成18年度～	
京丹後市地域防災計画(一般計画編)	市の地域において、災害及び地震の発生により生ずるおそれのある住民、来訪者の生命、身体及び財産並びに地域として有する公共的財産への安全上の脅威及び損害を軽減することを目的に策定。	平成18年2月	平成17年度～	平成20年2月一部修正 平成23年11月一部修正
京丹後市地域防災計画(震災対策計画編)	市の地域において、地震の発生により生ずるおそれのある住民、来訪者の生命、身体及び財産並びに地域として有する公共的財産への安全上の脅威及び損害を軽減することを目的に策定	平成18年2月	平成17年度～	平成20年2月一部修正 平成24年3月一部修正
京丹後市地域防災計画(原子力災害対策編)	高浜発電所と大飯発電所における原子力災害の発生及び拡大を防止し、原子力災害の復旧を図るために必要な対策について、京丹後市、京都府、指定地方行政機関、指定公共機関、指定地方公共機関等の防災関係機関がとるべき措置を定め、総合的かつ計画的な原子力防災事務又は業務の遂行によって住民等の被ばく線量を最小限に抑え、住民等の生命、身体及び財産を原子力災害から保護することを目的に策定	平成25年4月	平成25年度～	
京丹後市原子力災害住民避難計画	京丹後市地域防災計画(原子力災害対策編)に基づき、高浜発電所と大飯発電所における原子力災害に関する住民等の避難と防護措置について、必要な事項を定めたもの	平成25年4月	平成25年度～	

2 施策目的

優先順位	現状においてどのような問題や課題があつて(何のために)	『何を対象に』、『どのようなことを行うことで(又はどのような手段で)』	どのような状態にしたいのか	関連する施策方針
1	24時間営業形態や建物の複合用途利用、加えて業種業態変更により多様化する建物の利用形態への対応	予防行政を充実するための要員確保と養成。資機材の整備充実、災害対応要員の確保及び教育訓練の充実。	災害対応力の充実	1 消防本部体制の強化 4 消防本部・消防団・自主防災組織の連携
2	火災や災害発生時に迅速かつ的確な災害防衛活動を行う	より消防団活動に参加しやすい環境整備及び活動内容の再検討を行うとともに、現状に応じた均衡の取れた組織再編を行う	市民の安心安全に応えるべく消防団の充実強化	2 消防団の強化 4 消防本部・消防団・自主防災組織の連携
3	地域防災力の充実・強化及び、市民への情報発信、被災の未然防止や最小限化	自主防災組織の設置及び充実に対する支援と共に、消防本部・消防団と一体となって活動できる体制づくり。防災行政無線などによる正確且つ迅速な災害情報の発信。危機管理体制の強化	自主防災組織・消防本部・消防団・市が一体となり災害の未然防止や災害のないまちづくり	3 自主防災の強化 4 消防本部・消防団・自主防災組織の連携 6 災害情報の発信 8 危機管理体制の強化
4	土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域の基礎調査結果により、市内には危険箇所が多いことから	住宅地背後の急峻で危険な崖地のある急傾斜地において、急傾斜地崩壊対策事業及び急傾斜地防災対策事業を実施することで	崖地崩壊を未然に防止するとともに、市民の生命と身体及び財産を土砂災害から守る。	5 危険箇所解消による防災対策
5	緊急消防援助隊として、全国的な相互応援体制に寄与するため	広域的に他本部との訓練研修により技術習得及び連携強化を図る	即応体制を強化し、災害対応力を充実	1 消防本部体制の強化
6	東日本大震災の被災地等において災害支援活動を行う	陸前高田市復興支援センターへの職員派遣及び、全国的な相互応援体制に寄与するため、他消防本部との連携強化を図る	被災地の早期復旧・復興	1 消防本部体制の強化 6 災害情報の発信

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時(H17)		後期基本計画作成時(H20)		直近年度実績値(現状)		目標(H26)	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度		
	消防設備を充実します	防火水槽(40t有蓋)	558基	H16	579基	H20	594基	H25	603基	H26
	防災体制を強化します	自主防災組織	5団体	H16	74団体	H20	124団体	H25	180団体	H26
		災害時応援協定団体	1団体	H16	48団体	H20	66団体	H25	60団体	H26

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時	直近年度実績値(現状)		目標	
					年度	年度	年度	年度
	なし							

4 構成事務事業・評価結果一覧

DO

CHECK

施策方針	事務事業 事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業の概要						施策評価結果			
			H25決算額	H26予算額(一般財源)	根拠法令	財政負担	単独事業	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値	説明	施策目的	施策貢献度
1 消防本部体制の強化	1 消防本部総務業務	消防総務課	8,421	8,989(8,989)	なし	単費	○	内部管理	-	-	-	1	A	現状維持
	会議出張、職員制服、事務用品等購入、消防施設の維持管理、職員健康診断の実施													
	2 救急救命士養成業務	消防総務課	2,917	3,477(3,477)	国規定	単費	○	内部管理	-	-	-	1	S	現状維持
	救急救命士の計画的な養成(年1人、運用19人)、気管挿管が可能な認定救命士の養成(運用9人)													
	3 消防学校等研修派遣業務	消防総務課	2,843	3,189(3,189)	義務	単費	○	-	-	-	-	1,5	S	現状維持
	府立消防学校・消防大学校専科教育・各種研修会等を計画的に受講(受講者数19人)													
	4 予防・警防等業務	消防総務課	7,129	8,480(7,674)	義務	単費	○	-	-	-	-	1	S	現状維持
	火災予防チラシ等の作成配布、立ち入り検査等の実施、資機材の整備													
2 消防団の強化	5 救急活動業務	消防総務課	6,779	7,173(7,173)	義務	単費	○	-	-	-	-	1	S	現状維持
	24時間体制の救急活動及び資機材の整備・保守(救急出動2,481件、搬送人員2,383人)													
	6 通信指令業務	消防総務課	17,868	19,843(19,843)	義務	単費	○	-	-	-	-	1	S	現状維持
	119番通信指令システムの適切な保守・維持管理													
	7 庁舎等維持管理業務	消防総務課	19,159	19,069(18,882)	市規定	単費	○	内部管理	-	-	-	1	A	現状維持
	消防庁舎、消防車両等の維持管理及び保守点検(消防本部ほか3か所 車両18台)													
	8 常備消防施設等整備事業	消防総務課	154,798	803,201(901)	義務	単費	○	-	-	-	-	1	S	現状維持
	消防防災無線デジタル方式移行に係る整備工事等を実施													
2 消防団の強化	1 団員報酬	総務課	42,032	42,654(42,654)	市規定	単費	○	内部管理	-	-	-	2	S	拡大
	消防団条例に基づき、階級ごとに報酬を支給(団員数:1,677人)													
	2 公務災害補償費等	総務課	3,701	4,096(3,696)	義務	単費	○	-	-	-	-	2	S	現状維持
	公務上で災害を受けた消防団員等に対する災害補償(団員1人)、補償費掛金													
	3 団員退職報償金	総務課	39,107	34,656(34,656)	義務	単費	○	-	-	-	-	2	S	拡大
5年以上在職して退職した消防団員に対する慰労金の支給(20人)及び掛金の納入														
4 消防団活動運営事業	総務課	115,229	117,391(117,391)	市規定	単費	○	サービ	団体	直・委・補・負	6	生命財産 権利保護	2	S	拡大
消防団の組織運営(団員1,677人)、消防車両等の保守管理(車両88台、車庫119施設)														
5 消防団活動運営事業【明許繰越】	総務課	-	2,200(2,200)	平成25年度事業の一部を繰り越して実施する事業										
平成25年度事業の一部を繰り越して実施する事業														

施策方針	事務事業 事業内容(実績) 担当課		予算額(単位:千円)		事務事業の概要								施策評価結果				
			H25決算額	H26予算額 (一般財源)	根拠 法令	財政 負担	単独 事業	事業 種別	対象	実施 手法	関与 必要性 数値	説明	施策 目的	施策 貢献度	今後の 方向性		
2 消防団の強化	6	消防車両整備事業 小型動力ポンプ付積載車を更新(1台)	総務課	9,574	10,114 (414)	なし	府・ 一部	含む	維持 管理	市民	直・補	6	生命財産 権利保護	2	S	現状維持	
	7	消火栓設置事業 地区要望及び周辺の水利状況等を考慮し、消火栓を新設(5基)、改修(13基)、移設(2基)	総務課	8,201	11,874 (574)	義務	単費	○	-	-	-	-	-	2	S	現状維持	
	8	消火栓設置事業【明許繰越】 平成25年度事業の一部を繰り越して実施する事業	総務課	-	1,354 (54)	平成25年度事業の一部を繰り越して実施する事業											
	9	消火栓ボックス等整備事業 消火栓ボックスの新設や消火栓備品の整備(消火栓用ホース275本、管鎗75本他)	総務課	4,146	4,500 (4,500)	なし	単費	○	維持 管理	市民	直	6	生命財産 権利保護	2	S	現状維持	
	10	消防施設一般経費 円滑な消防活動に必要な消防資機材、消防車庫、消防水利等を維持管理	総務課	4,327	6,435 (6,435)	なし	単費	○	維持 管理	市民	直	6	生命財産 権利保護	2	S	拡大	
	11	防火水槽整備事業 耐震性貯水槽の設置工事(40t級、1基)	総務課	-	9,000 (82)	事業実施が必要な年度に実施											
	12	防火水槽整備事業【明許繰越】 防火水槽の新設工事(40t、2基)	総務課	13,021	-	義務	国・ 一部	含む	-	-	-	-	-	2	S	現状維持	
	3 自主防災の強化	1	災害対策一般経費【再掲】方針8 災害に備え、備蓄資材の購入や各種防災用危機の維持管理を実施	総務課	23,630	22,221 (17,221)	市規 定	単費	○	サー ビス	市民	直・委・ 補・負	6	生命財産 権利保護	3	S	現状維持
		4 消防本部・消防団・自主防災組織の連携 消防本部と消防団が定期的に会議を持つなど常に連携している。また、市が実施する防災訓練に自主防災組織も参加するなど連携を図っている。															
	5 危険箇所解消による防災対策	1	急傾斜地崩壊対策事業 京都府が実施した急傾斜地崩壊対策工事の負担金(1か所)	管理課	3,575	2,500 (200)	義務	単費	○	-	-	-	-	-	4	S	拡大
	6 災害情報の発信	1	防災行政無線維持管理事業 防災行政無線施設及び設備の保守点検・維持管理(戸別受信機利用台数 19,861台)	総務課	36,034	37,996 (37,996)	市規 定	単費	○	維持 管理	市民	直・委・負	6	生命財産 権利保護	3	S	現状維持
	7 建築物耐震化の促進	他施策(住宅の供給と安心できる住環境の整備)における「住宅・建築物耐震改修等事業」により耐震化を促進している。															
8 危機管理体制の強化	1	防災会議運営事業 京丹後市防災会議の開催	総務課	36	234 (234)	義務	単費	○	-	-	-	-	-	2	S	現状維持	
	2	災害支援対策経費 台風18号や東日本大震災発生を受け、被災地への災害支援を実施(職員派遣旅費、災害ボランティア派遣経費)	総務課	605	-	なし	単費	○	サー ビス	他	直	1	該当なし	3	A	現状維持	
	3	災害対策一般経費【方針3にも該当】 災害に備え、備蓄資材の購入や各種防災用危機の維持管理を実施	総務課	23,630	22,221 (17,221)	市規 定	単費	○	サー ビス	市民	直・委・ 補・負	6	生命財産 権利保護	3	S	現状維持	
	4	災害対策一般経費【明許繰越】 地域防災計画(原子力災害対策編)を策定	総務課	1,993	-	なし	単費	○	サー ビス	市民	委	6	生命財産 権利保護	3	S	現状維持	
	5	国民保護対策経費 国民保護協議会を開催	総務課	-	66 (66)	平成25年度予算未執行											
			計	525,125	1,180,712 (338,501)												

※ 合計金額には再掲事業を含んでいません。

5. 歳出抑制の考え方について

ACT

施策における歳出抑制の考え方	No.	歳出抑制の考え方 (平成27~29年度までの3か年で取り組む歳出抑制)	一般財源抑制見込額 (単位:千円)	補完・代替措置などがある場合は、その内容

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	02消防本部総務業務
細事業名	01 消防本部総務業務			決算書 P.282
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
8,421千円	8,807千円	386千円	95.6%	8,841千円
目的	消防業務の企画や調整、消防施設の管理及び消防職員の士気や知識の向上、被服の貸与及び安全衛生管理を行い、24時間体制の常備消防活動を維持し運用する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>消防長会、府立消防学校、消防・防災関連会議等への出席、制服等職員貸与品の購入、事務用品、コピー、電話代金支払い等の事務を行った。  消防活動に万全の体制で対応するため、職員の健康管理・増進事業について積極的に取り組んだ。</p> <p>※消防職員（吏員）95人 平成26年3月末日現在</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○旅費 443千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防長会、消防学校、京都府主催会議等</li> </ul> </li> <li>○消耗品費 5,121千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現任職員貸与被服等購入費（制服、活動服、雨具等） 2,642千円</li> <li>・新採用職員貸与被服等購入費（2人：制服、活動服等） 967千円</li> <li>・仮眠寝具等購入費 114千円</li> <li>・法令関係図書、事務用品、コピー代等 1,398千円</li> </ul> </li> <li>○通信運搬費 1,169千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・NTT電話料金（各署所基本料・通話料、携帯電話基本料・通話料、郵便・メール便料金、久美浜有線放送料金等）</li> </ul> </li> <li>○肝炎ウィルス検診委託料等（新規採用職員1人） 39千円</li> <li>○職員健康診断委託料 763千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・潜水業務健康診断（14人）B・C型肝炎抗体検査（79人）</li> <li>・労働安全衛生法に基づく消防職員第2回目健康診断料（74人）</li> </ul> </li> <li>○コピー機借上料、印刷機使用料、テレビ受信料等 198千円</li> <li>○全国消防長会等負担金等 401千円</li> <li>○その他事務経費等 287千円</li> </ul>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○市民の消防活動に対する期待は高く、業務が高度・専門化する中、24時間体制で常備消防活動を維持し運用することができた。</p> <p>○事務、消耗品等の発注を、本部総務課で一括して行うなど経費の削減に努めることができた。</p>			
事業所管課	消防本部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	03消防訓練・研修業務										
細事業名	01 救急救命士養成業務			決算書	P.284									
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化										
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額										
2,917千円	2,957千円	40千円	98.6 %	3,057千円										
目的	医師の指示の下、救急車内等で高度な救命処置が行える救急救命士を常時乗車させ活動するとともに、気管挿管可能な認定救命士を計画的に養成し、市民の安心な生活に寄与する。													
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成5年度から毎年1人ずつ救急救命士を新規養成しており、平成25年度も1人を養成派遣するとともに、地域医療圏の病院へ、気管挿管実習に職員1人を派遣した。</p> <p>平成26年3月末日現在の救急救命士数は、運用救急救命士19人（うち、挿管認定救命士9人）である。</p> <p>○旅費 247千円 ・救急救命士養成派遣旅費（救急救命九州研修所：1人）</p> <p>○職員研修委託料 360千円 ・現任救急救命士病院研修委託料 5千円×4日×18人</p> <p>○救急救命士養成負担金等 2,310千円 ・新規養成 救急救命九州研修所派遣（1人：9月～3月） 2,010千円 ・気管挿管 病院実習（1人） 300千円</p> <p>(参考)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>救急件数</th> <th>搬送人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>2,536件</td> <td>2,372人</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>2,481件</td> <td>2,383人</td> </tr> </tbody> </table>					年	救急件数	搬送人員	H24	2,536件	2,372人	H25	2,481件	2,383人
年	救急件数	搬送人員												
H24	2,536件	2,372人												
H25	2,481件	2,383人												
主な財源														
評価・課題等	<p>○市民の救急救命士に対する期待は年々向上しており、前年と比較すると、救急件数は若干減少しているが、救急救命士による救命処置により、市民の安心な生活に寄与できた。</p> <p>○市民の生命を守るため救急救命士の養成は不可欠であり、今後も計画的に養成していく必要がある。また、気管挿管をはじめとしたより高度な処置が可能な認定救急救命士も養成していく必要がある。</p>													
事業所管課	消防本部／総務課													

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	03消防訓練・研修業務		
細事業名	02 消防学校等研修派遣業務				決算書	P.284
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市		計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
2,843千円	2,912千円	69千円	97.6%	2,812千円		
目的	火災・救助・救急訓練及び各種研修会等に参加し、最新の知識や専門技能を習得するとともに、消防活動に必要な各種資格を取得し、複雑多様化する消防業務に対応する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京都府立消防学校や、京都府消防長会等が主催する各科研修課程及び各種研修会に、計画的かつ積極的に参加し、消防職員としての資質向上を図った。</p> <p>○旅費 1,572千円  ・消防大学校及び府立消防学校の入校、各専科教育課程・各種研修会並びに講習会</p> <p>○消防学校専科等研修負担金 780千円  ・府立消防学校（八幡市）初任科教育（1人：4月～11月）  ・消防大学校（火災調査科：1人 上級幹部科：1人）  ・中級幹部科（1人）、予防Ⅰ科（1人）、危険物科（1人）  ・特殊災害科（1人）、警防科（1人）、救急科（1人） 計9人</p> <p>○各種講習会受講負担金 385千円  ・ロープレスキュー（2人）、陸上特殊無線技士（1人）  ・潜水土（1人）、玉掛け技能（1人）、ガス溶接技能（1人）  ・小型移動式クレーン（1人）、2級小型船舶（1人）  ・酸素欠乏硫化水素危険作業主任者（1人）、潜水技術（1人） 計10人</p> <p>○大型自動車免許取得補助金（1人） 49千円</p> <p>○その他の研修経費等 57千円</p>					
主な財源						
評価・課題等	○あらゆる状況を想定して開催される各種の災害訓練及び研修・講習会に参加し、最新の知識や専門技能を習得することで、職員の資質の向上を図れた。 ○災害の態様も年々変化しており、それらの災害に対応する知識・技能を習得し、消防業務に対応していく必要がある。					
事業所管課	消防本部／総務課					



予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	04予防・警防等業務
細事業名	01 予防・警防等業務			決算書 P.284
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
7,129千円	7,313千円	184千円	97.4 %	7,548千円
目的	各世帯へチラシ配布や各事業所等への立入検査及び防火訪問等を行い出火防止を図る。また迅速・確実な消防活動を支える各資機材の整備と更新により、災害活動時の安全を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>出火防止のため防火チラシの作成配布、防火ポスターの募集、防火座談会・訪問等を行い防火啓発活動に努めた。また、上半期に頻発した、コンデンサ火災の防火啓発のため、織機工場等の防火訪問を行い防火指導を行った。</p> <p>計画的に消火活動用資機材及び救急・救助用資機材の更新を行い、消防活動全般におけるより安全・確実な活動に配慮した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費 66千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防火ポスター表彰記念品等(493人) 小学校4年生対象</li> </ul> </li> <li>○消耗品費 1,964千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防火管理者資格取得講習会テキスト購入等</li> <li>・各種広報普及推進物品、救助活動用資機材</li> <li>・感染防護資機材等</li> </ul> </li> <li>○印刷製本費 163千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋季、春季火災予防運動啓発チラシ 計42,000枚</li> <li>『火災予防運動防火ポスター』900枚印刷(市内小学4年生の入選図画使用)</li> </ul> </li> <li>○修繕料 1,001千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種救助資機材修理、潜水資機材修理、消防用資機材等修理</li> </ul> </li> <li>○手数料 291千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高圧ガス容器再検査、船舶検査等</li> </ul> </li> <li>○原材料費 137千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災予防運動用工作物材料費</li> </ul> </li> <li>○備品購入費 3,132千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防活動用資機材等(消防ホース・空気呼吸器・ロープ等)</li> <li>・水難救助用資機材等(ウェットスーツ・ブーツ・ダイバーフロート等)</li> </ul> </li> <li>○その他経費等 375千円</li> </ul>			
主な財源	手数料	消防手数料	1,198千円	
	諸収入	防火管理者資格取得講習料	371千円	
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各事業所等への立入検査を積極的に実施し、設備の維持管理等について適切に指導した。</li> <li>○火災件数は、前年に比較して7件減少したが、引き続き火災防止啓発に積極的に取り組んでいく。(火災発生件数：平成25年：20件、平成24年：27件、平成23年：21件)</li> <li>○各資機材は経年劣化による修理も多くなっており、計画的な更新の必要性が増している。</li> </ul>			
事業所管課	消防本部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	05救急業務												
細事業名	01 救急活動業務			決算書 P.284												
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化												
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額												
6,779千円	6,987千円	208千円	97.0%	6,383千円												
目的	資機材の保守・整備、備品の管理を的確に行い、救急活動に対応する。救命指示センターとの連携及び丹後MC協議会で救急活動の検証を行い、救命救急活動を充実させる。															
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>安全かつ的確に救急業務に対応するため、資機材の整備充実と職員の資質向上に努めた。B・C型肝炎他感染症への感染防止の対応を強化した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○旅費（救急管外搬送） 148千円</li> <li>○消耗品費 2,909千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・滅菌ガーゼ・毛布など救急活動で使用する消耗品</li> <li>・現場用手袋・マスク等の使い捨てを基本とする物品や除細動器用バッテリー一等の耐用年限経過による交換が必要な消耗品</li> </ul> </li> <li>○修繕料（除細動器他） 819千円</li> <li>○高圧ガス容器検査手数料 76千円</li> <li>○産業廃棄物処理手数料（救急業務で使用したガーゼ等の汚物） 162千円</li> <li>○京都救命指示センター委託料 1,507千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・24時間体制で医師が1人常駐し、救急救命士の救命行為に指示</li> </ul> </li> <li>○高度救急医療機材定期点検保守委託料 905千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・除細動器、患者監視装置等の医療器材を年2回整備点検</li> </ul> </li> <li>○丹後メディカルコントロール（MC）協議会負担金 120千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・救命救急業務向上のため、北丹医師会、与謝医師会、救急指定4病院、丹後保健所、丹後広域振興局等と連携し、協議会を組織</li> </ul> </li> <li>○その他経費 133千円</li> </ul> <p>(参考)</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>救急件数</th> <th>搬送人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>2,591件</td> <td>2,449人</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>2,536件</td> <td>2,372人</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>2,481件</td> <td>2,383人</td> </tr> </tbody> </table>				年	救急件数	搬送人員	H23	2,591件	2,449人	H24	2,536件	2,372人	H25	2,481件	2,383人
年	救急件数	搬送人員														
H23	2,591件	2,449人														
H24	2,536件	2,372人														
H25	2,481件	2,383人														
主な財源																
評価・課題等	<p>○丹後MC協議会で出動後の救急活動の検証を行うことで、職員のレベルアップが図れた。また救急資機材の適正配備と維持管理を徹底することで、安全、確実な救急業務を行うことができた。</p> <p>○高度な救命処置への対応が必要となる中、各病院との連携を強化するため、丹後MC協議会等を通じ推進していく。</p>															
事業所管課	消防本部／総務課															

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	06通信指令業務
細事業名	01 通信指令業務			決算書 P.286
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
17,868千円	18,058千円	190千円	98.9%	19,812千円
目的	24時間体制で市民等から火災、救急・救助等の緊急要請を受ける119番通信指令システム（指令台）を適正に管理運用し、市民の安心・安全な生活に寄与する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>24時間体制で市民等から緊急通報を受け、コンピュータ制御による発信地表示装置と地図検索装置を活用し素早く災害発生地点を特定、必要な消防車両の出動指令を行うとともに、防災行政無線機による災害広報対応を行った。</p> <p>119番通信指令システム（指令台）に不具合が生じないよう、計画保守点検に努め、適切に維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費 40千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災用音声合成装置吹込み謝金（毎月1回）</li> </ul> </li> <li>○消耗品費 344千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリンター、携帯無線機用電池、インクカートリッジ</li> </ul> </li> <li>○修繕料 1,017千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防緊急通信指令施設定期保守交換部品費等</li> </ul> </li> <li>○通信運搬費（NTT専用回線料） 4,780千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指令回線（署所音声指令用、地図伝送用）119番受信用回線</li> </ul> </li> <li>○委託料 9,448千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防緊急通信指令施設保守業務委託料等 8,316千円</li> <li>・緊急通報用電話発信地表示システム委託料 532千円</li> <li>・聴覚言語障害者用緊急システム運用委託料等 600千円</li> <li>（聴覚言語障害者の方が携帯電話を使って「119番通報」できるシステム）</li> </ul> </li> <li>○使用料及び賃借料 2,239千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防本部パソコン借上料</li> </ul> </li> </ul>			
主な財源	諸収入 光アクセスシステム装置設置電気料			20千円
評価・課題等	<p>○機器等のメンテナンスを徹底し、市民等からの緊急要請に適切に対応することができた。また機器の的確な操作により、各車両をスムーズに出動させることができた。</p> <p>○機材の経年劣化による修繕、部品交換等は避けられないことから、計画的に整備することが必要となる。</p>			
事業所管課	消防本部／総務課			



予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	07庁舎等維持管理事業
細事業名	01 庁舎等維持管理事業			決算書 P.286
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
19,159千円	19,658千円	499千円	97.4 %	19,375千円
目的	消防庁舎及び消防車両等について、適切に維持管理を行い各種災害対応に備える。特に消防車両については、整備・点検を計画的に実行し、緊急出動等に適切に対応する。			
主要な事業及び成果の概要	<p>消防庁舎は火災・救急・救助活動に備える拠点施設であり、職員が適切に活動できる職場環境の整備に努めた。</p> <p>また、各消防車両は災害の最先端で運用する車両であり、いつ災害が発生しても万全の状態に出動し、市民の安心安全な生活に寄与すること及び職員の安全確実な活動を支えるため、整備・点検を徹底した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○消耗品費（トイレトーパー、蛍光管、洗剤等） 330千円</li> <li>○燃料費 5,424千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・車両関係燃料（ガソリン、軽油代） 3,751千円</li> <li>・施設関係燃料（ガス、灯油代） 1,673千円</li> </ul> </li> <li>○光熱水費（消防本部他3署所の電気料金、上下水道料金） 6,935千円</li> <li>○修繕料 3,899千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設関係修繕（エアコン、看板灯他） 610千円</li> <li>・車両関係点検、整備（18台） 3,289千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>車検10台、定期点検（3か月（大型のみ）、6・12か月）修理他</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○公用車車検経費（10台分、自動車登録手数料、自動車重量税他） 588千円</li> <li>○通信指令室等空調設備保守点検業務委託料、キュービクル設備等保安管理委託料他 288千円</li> <li>○自動車損害保険料 649千円</li> <li>○庁舎床面清掃費（4署所分） 197千円</li> <li>○清掃用具借り上げ料（モップ・マット等4署所分） 195千円</li> <li>○工事請負費（竹野川分遣所空調設備取替工事） 511千円</li> <li>○備品購入費（自動車用消火器、掃除機） 62千円</li> <li>○その他経費等 81千円</li> </ul>			
主な財源	諸収入 市有自動車損害共済金			70千円
評価・課題等	<p>○24時間、職員が適切に活動できるよう、消防庁舎の環境整備を整えることができた。</p> <p>○消防車両は経年劣化の目立つ車両も含め定期的かつ計画的にメンテナンスを実施することで、火災・救急・救助等の災害発生の際、迅速な出動、的確な活動を行うことができた。</p> <p>○消防庁舎は消防活動の拠点であることから、今後も常時適切な状態を維持管理する必要がある。</p>			
事業所管課	消防本部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	01常備消防施設等整備事業								
細事業名	01 常備消防施設等整備事業			決算書 P.290								
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化								
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額								
154,798千円	154,799千円	1千円	99.9%	173,350千円								
目的	消防救急無線、通信指令台、消防車両等の施設及び設備について、計画的な更新整備を行い、複雑多様化する災害に対する対応力を向上させる。											
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成28年5月末で使用できなくなるアナログ消防救急無線を、デジタル方式に移行するための整備工事を行った。(平成25年度、26年度の2か年継続事業)</p> <p>高機能消防通信指令システムの更新整備及び通信指令室の新設等庁舎改修をするための各実施設計を行った。</p> <p>○委託料 9,363千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※消防・救急デジタル無線無線整備工事に伴う監理業務 2,750千円</li> <li>・高機能消防通信指令システム(指令台)実施設計業務 3,915千円</li> <li>・通信指令室等庁舎整備、改修工事設計業務 2,698千円</li> </ul> <p>○工事請負費 145,435千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※消防救急デジタル無線整備工事</li> <li>無線回線制御装置(1台)、基地局無線装置(10台)の各機器の整備</li> </ul> <p>※継続費対象</p> <p>消防・救急無線デジタル化事業</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>148,185千円</td> <td>237,000千円</td> <td>385,185千円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度は予算額</li> </ul>					平成25年度	平成26年度	合計	事業費	148,185千円	237,000千円	385,185千円
	平成25年度	平成26年度	合計									
事業費	148,185千円	237,000千円	385,185千円									
主な財源	市債 消防救急無線デジタル化事業債(緊急消防・減災事業費)			154,700千円								
評価・課題等	<p>○消防救急無線デジタル方式への移行について、平成27年4月の運用開始を目指し計画通り事業を推進することができた。</p> <p>○高機能消防通信指令システムの更新及び通信指令室等改修の各実施設計が完了し、計画通り進めることができた。</p>											
事業所管課	消防本部/総務課											

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	01団員報酬・公務災害補償費等						
細事業名	01 団員報酬			決算書 P.288						
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化						
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額						
42,032千円	42,077千円	45千円	99.8 %	42,972千円						
目的	市消防団条例に基づき、団員に階級ごとの報酬を支給する。									
主要な事務・事業及び成果の概要	○ 団員報酬			42,032千円						
	年額 (2回に分けて支給)									
	団長	189千円	指導員	50千円						
	副団長	123千円	部長	43千円						
	分団長	96千円	班長	33千円						
	副分団長	57千円	団員	19千円						
	(参考) 京丹後市消防団員数内訳 (条例定員: 1,805人)									
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
	本部	11	14	13	16	14	14	12	10	10
	峰山町	368	362	362	360	361	361	359	346	346
大宮町	290	287	284	285	283	284	281	280	280	
網野町	419	418	418	410	414	411	411	387	382	
丹後町	242	242	239	238	238	234	236	226	222	
弥栄町	218	216	213	210	212	211	209	198	195	
久美浜町	241	240	240	240	239	241	242	242	242	
合計	1,789	1,779	1,769	1,759	1,761	1,756	1,750	1,689	1,677	
不足数	△ 16	△ 26	△ 36	△ 46	△ 44	△ 49	△ 55	△ 116	△ 128	
*本部は団長(1人)及び女性消防団員(各年4月1日現在)										
主な財源										
評価・課題等	団員確保が年々難しくなっている状況が続いており、定数が確保できていないため、再編とあわせ検討していく必要がある。									
事業所管課	企画総務部/総務課									

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	01団員報酬・公務災害補償費等
細事業名	02 公務災害補償費等			決算書 P.288
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
3,701千円	3,703千円	2千円	99.9%	3,697千円
目的	消防団員等が公務上の災害を受けた場合に損害賠償や災害補償を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>公務災害補償制度（消防団員等公務災害補償等共済基金）や住民参加の防火訓練における災害補償制度（日本消防協会）を活用し、消防団員等が火災や訓練で災害を受けた場合の損害賠償や災害補償を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公務災害補償費 <span style="float: right;">6千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防団員1人分（H25.8.25 網野町での火災発生時）</li> </ul> </li> <li>○ 負担金、補助及び交付金 <span style="float: right;">3,695千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防団員等公務災害補償掛金 <span style="float: right;">3,636千円</span>  （条例定数1,805人、消防・水防作業59,038人（平成22年度国勢調査人口））  掛金 団員 1,900円/人 消防・水防作業 3.5円/人</li> <li>・ 災害補償費掛金 <span style="float: right;">59千円</span>  59,038人（平成22年国勢調査人口）×1円 ※千円未満切捨て）</li> </ul> </li> </ul>			
主な財源	諸収入 消防団員公務災害補償金			6千円
評価・課題等	制度に基づく事業内容を継続することで、消防団員等の公務災害及び防災訓練等に参加した住民の不慮の事故に備えた。			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	02団員退職報償金
細事業名	01 団員退職報償金			決算書 P.288
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
39,107千円	39,107千円	0千円	100.0%	34,656千円
目的	5年以上在職して退職した消防団員の多年の労苦に報いるため、その団員の在職年数や階級に応じて退職報償金を支給する。また、その支給のための掛金を基金に支払う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>消防団員が、5年以上在職して退職した場合に退職報償金を支給するもの。退職報償金は、消防団員の多年の労苦に報いるもので、市条例に基づき、その団員の在職年数や階級に応じて支給される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 報償費 <span style="float: right;">4,451千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退職報償金(20人分)</li> </ul> </li> <li>○ 負担金、補助及び交付金 <span style="float: right;">34,656千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団員退職報償金掛金(条例定数1,805人×定額19,200円)</li> <li>消防団員等公務災害補償等共済基金掛金</li> </ul> </li> </ul>			
主な財源	諸収入 消防団員退職報償金			4,451千円
評価・課題等	条例に基づき、退職した消防団員に退職報償金を支給した。			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	03消防団活動運営事業						
細事業名	01 消防団活動運営事業			決算書 P.288						
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化						
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額						
115,229千円	117,828千円	2,599千円	97.7%	119,784千円						
目的	消防団員としての有事の際の出動、資質向上や技能習得のために必要な訓練及び予防活動等のほか、消防車両等の維持管理を行う。									
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>消防団の運営及び活動に対する経費で、分団・部等の運営費及び出動手当のほか、消防車両等の維持管理経費、表彰調査経費等を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 京都府知事表彰旗表彰調査経費 5,219千円 [日程]平成25年11月10日(日) [場所]京丹後市立大宮中学校グラウンド ・ 訓練謝金4,944千円、会場設営委託料275千円</li> <li>○ 消防団120年・自治体消防65周年記念大会参加経費 1,027千円 [日程]平成25年11月25日(月) ※2泊3日 [場所]東京ドーム：参加者25人 ・ 旅費597千円、バス借上料430千円</li> <li>○ 消防団運営活動謝金 59,694千円</li> <li>○ 消防団出動手当・訓練手当、職員旅費等 20,658千円</li> <li>○ 消耗品費(活動服、ヘルメット、長靴、手袋ほか) 7,942千円</li> <li>○ 消防車両維持管理経費(燃料、修繕料、保険料、重量税等 88台分) 13,376千円</li> <li>○ 消防車庫維持管理経費(電気代、火災保険料等：119施設分) 2,523千円</li> <li>○ ポンプ自動車点検(38台分) 230千円</li> <li>○ 消防学校入校、大会参加バス借上料等 445千円</li> <li>○ 備品購入費(消防用ホース111本、消防車両用消火器34本) 3,239千円</li> <li>○ 京都府消防協会京丹後市支部負担金 255千円</li> <li>○ その他費用(消火栓ボックス・消火器処分手数料ほか) 621千円</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>115,628千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な執行率</td> <td>99.7%</td> </tr> </table> <p>■ 平成26年度への繰越事業 ・ 消防団再編検討委託料 2,200千円 (平成26年12月完成予定)</p>				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	115,628千円		実質的な執行率	99.7%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	115,628千円								
	実質的な執行率	99.7%								
主な財源										
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 消防団の運営に対する支援や維持管理ができた。</li> <li>○ 組織再編や資機材の適正配置及び充実を検討する必要がある。</li> </ul>									
事業所管課	企画総務部／総務課									



予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	02非常備消防施設等整備事業
細事業名	01 消防車両整備事業			決算書 P.290
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
9,574千円	9,633千円	59千円	99.3 %	10,113千円
目的	老朽化した消防車両を、救助作業もできる資機材を搭載した多機能型として更新し、災害発生時に迅速かつ的確に対処する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>消火活動に欠かせない消防車両をAED、チェーンソー、エンジンカッター、電動式油圧カッター、携帯用コンクリート破壊用具、布担架などの救助資機材を装備し、大規模災害など救助活動にも対応できる多機能型として更新した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 備品購入費 <span style="float: right;">9,520千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多機能型小型動力ポンプ付積載車1台 <span style="float: right;">9,236千円</span> (網野第4分団第1部：上野・俵野)</li> <li>・AED1台 <span style="float: right;">284千円</span></li> </ul> </li> <li>○ 役務費 <span style="float: right;">22千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車登録手数料 <span style="float: right;">2千円</span></li> <li>・自動車リサイクル料 <span style="float: right;">9千円</span></li> <li>・自動車損害保険料 <span style="float: right;">9千円</span></li> <li>・自動車損害共済分担金 <span style="float: right;">2千円</span></li> </ul> </li> <li>○ 公課費 <span style="float: right;">32千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車重量税</li> </ul> </li> </ul>			
主な財源	府補	地域防災力総合支援事業補助金	4,759千円	
	市債	消防自動車整備事業債(合併特例債)	4,500千円	
評価・課題等	平成26年4月1日現在、市は消防車両88台を所有しており、その内、購入後20年以上経過している車両は10台。消防団組織の見直しとあわせて、車両の再配置を検討する必要がある。			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	04消火栓整備事業
細事業名	01 消火栓設置事業			決算書 P.290
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
8,201千円	9,556千円	1,355千円	85.8 %	11,535千円

目的 初期消火に有効な消火栓の設置等について、地区要望及び周辺の水利状況等を考慮し、計画的に整備し、地域の防災力を高める。

主要な事務・事業及び成果の概要

○ 工事請負費 8,201千円

【消火栓工事施工概要】

区分	新設		改修		移設		合計
	地下式	地上式	地下式	地上式	地下式	地上式	
峰山	1		1				2
大宮	2						2
網野				2			2
丹後				7		2	9
弥栄							0
久美浜	2			3			5
合計	5		1	12		2	20

  

参考	繰越明許費を除いた最終予算額	8,202千円
	実質的な執行率	99.9 %

■ 平成26年度への繰越事業

- 工事請負費 1,354千円 (平成26年5月完成)

主な財源

市債	消防防災施設整備事業債 (合併特例債)	2,000千円
市債	消防防災施設整備事業債 (過疎対策債)	5,200千円

評価・課題等

住宅街などの消防水利が不足している地域への消火栓の新設工事に加え、水道管布設替工事に伴う老朽化した既設消火栓の更新工事、道路改良工事に伴う消火栓の移転工事等を実施することにより、地域の防災力を高めることができた。

事業所管課 企画総務部／総務課

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	04消火栓整備事業														
細事業名	02 消火栓ボックス等整備事業			決算書 P.290														
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化														
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額														
4,146千円	4,146千円	0千円	100.0%	4,500千円														
目的	消火栓の新設並びに老朽化等に伴う消火栓備品を設置及び更新し、地域の防災力を高める。																	
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>消火栓は、初期消火に有効な設備で、迅速かつ効果的に使用するためには消火栓備品の配備が必要である。そのため、区からの要望等を踏まえ、消火栓ボックスの新設箇所や老朽化した箇所の消火栓備品の整備を行った。</p> <p>○ 備品購入費 <span style="float: right;">4,146千円</span></p> <p>【消火栓備品】</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋外型ホース格納箱（スチール製）</td> <td>80台</td> </tr> <tr> <td>屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）</td> <td>80台</td> </tr> <tr> <td>消火栓用ホース</td> <td>275本</td> </tr> <tr> <td>管鎗（ノズルは噴霧タイプでない）</td> <td>75本</td> </tr> <tr> <td>消火栓開閉ハンドル（地下式用）</td> <td>25本</td> </tr> <tr> <td>単口式スタンドタイプ（地下式用）</td> <td>40本</td> </tr> </tbody> </table>				品名	数量	屋外型ホース格納箱（スチール製）	80台	屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）	80台	消火栓用ホース	275本	管鎗（ノズルは噴霧タイプでない）	75本	消火栓開閉ハンドル（地下式用）	25本	単口式スタンドタイプ（地下式用）	40本
	品名	数量																
屋外型ホース格納箱（スチール製）	80台																	
屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）	80台																	
消火栓用ホース	275本																	
管鎗（ノズルは噴霧タイプでない）	75本																	
消火栓開閉ハンドル（地下式用）	25本																	
単口式スタンドタイプ（地下式用）	40本																	
主な財源																		
評価・課題等	消防団等の点検確認や地元要望等に基づき整備することで、地域の防災力を高めることができた。																	
事業所管課	企画総務部／総務課																	

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	50消防施設一般経費
細事業名	01 消防施設一般経費			決算書 P.292
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
4,327千円	4,408千円	81千円	98.1 %	4,889千円
目的	消防活動を円滑に行うため、消防資機材や車庫、消防水利等の維持管理を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 需用費 <span style="float: right;">2,011千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小西川可動堰電気料 <span style="float: right;">61千円</span></li> <li>・消防車庫修繕（10か所） <span style="float: right;">1,372千円</span></li> <li>・消防無線機修繕 <span style="float: right;">30千円</span></li> <li>・防火水槽修繕 <span style="float: right;">384千円</span></li> <li>・その他修繕（消火栓・防火水槽表示看板） <span style="float: right;">164千円</span></li> </ul> </li> <li>○ 使用料及び賃借料 <span style="float: right;">28千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重機借上料（大宮町新宮区内消火栓土砂撤去） <span style="float: right;">28千円</span></li> </ul> </li> <li>○ 工事請負費 <span style="float: right;">2,288千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モーターサイレン塔撤去工事（5か所） <span style="float: right;">765千円</span></li> <li>・防火水槽撤去工事（丹後町願興寺区無蓋防火水槽） <span style="float: right;">641千円</span></li> <li>・有線放送配線撤去工事 <span style="float: right;">882千円</span> （弥栄町味土野、中山、大谷地内）</li> </ul> </li> </ul>			
主な財源				
評価・課題等	消防資機材や車庫、消防水利等を適切に維持管理し、有事に備えた。			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	03防火水槽整備事業
細事業名	01 防火水槽整備事業（繰越）			決算書 P.290
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 繰越予算額
13,021千円	17,000千円	3,979千円	76.5 %	17,000千円
目的	消防水利の基準により、充足率の低い地域から順次防火水槽を整備し、地域の防災力を高める。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○防火水槽の新設 2基（40t 耐震性鋼製品） 13,021千円 久美浜町壱分地区、網野町水之江地区</p>			
主な財源	国補	消防防災施設整備費補助金	5,236千円	
	市債	消防防災施設整備事業債（合併特例債）	3,600千円	
	市債	消防防災施設整備事業債（過疎対策債）	3,900千円	
評価・課題等	防火水槽を設置することにより、地域の防災力を高めることができた。			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	08土木費	03河川費	01河川総務費	01急傾斜地崩壊対策事業											
細事業名	01 急傾斜地崩壊対策事業			決算書 P.270											
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化											
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額											
3,575千円	3,575千円	0千円	100.0%	4,000千円											
目的	急傾斜地崩壊対策事業を推進し、住宅地背後の急峻な崖地の崩壊の危険を解消することで、市民の人命及び財産を守る。														
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>事業主体である京都府の計画に沿って、丹後町間人谷地区の急傾斜地崩壊対策事業を実施した。</p> <p>○ 急傾斜地崩壊対策事業負担金 3,575千円  京都府負担金：1地区分  事業費71,500千円×市負担率（5/100）</p> <p>(実施事業等) (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業名</th> <th rowspan="2">箇所名</th> <th rowspan="2">事業費</th> <th rowspan="2">市負担額</th> <th>うち地元分担金</th> </tr> <tr> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急傾斜地崩壊対策事業</td> <td>丹後町間人谷</td> <td>71,500</td> <td>3,575</td> <td>866</td> </tr> </tbody> </table>				事業名	箇所名	事業費	市負担額	うち地元分担金		急傾斜地崩壊対策事業	丹後町間人谷	71,500	3,575	866
	事業名	箇所名	事業費	市負担額					うち地元分担金						
急傾斜地崩壊対策事業	丹後町間人谷	71,500	3,575	866											
主な財源	分担金 急傾斜地崩壊対策事業分担金 866千円 市債 急傾斜地崩壊対策事業債（未来づくり資金） 1,900千円														
評価・課題等	○住宅地背後の急峻で危険な崖地のある急傾斜地において、急傾斜地崩壊対策事業を実施したことによって崖地崩壊を未然に防止するとともに、人命及び財産を守ることができた。 ○市内には急傾斜地が多数あることから、より多くの事業実施が図られるよう京都府に要望を行う必要がある。														
事業所管課	建設部／管理課														



予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	02防災行政無線維持管理事業			
細事業名	01 防災行政無線維持管理事業			決算書 P.292			
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額			
36,034千円	36,151千円	117千円	99.6%	37,770千円			
目的	防災行政無線施設及び設備等について、保守点検、修繕等により維持管理し、有事の際に迅速かつ的確な情報を市民に周知する。						
主要な事務・事業及び成果の概要	峰山町・網野町・丹後町の同報系・移動系無線と、弥栄町の移動系無線について、日常の保守点検、維持管理を行った。						
	○戸別受信機用アンテナ、電池他消耗品	492千円					
	○防災行政無線屋外拡声子局等電気代	3,029千円					
	○防災行政無線施設修繕料	4,006千円					
	(峰山町無線バッテリー交換、網野町無線設備修繕等)						
	○防災行政無線(同報系)地区遠隔制御装置回線使用料等	3,045千円					
	(消防本部、福祉事務所を含む各庁舎間を結ぶ遠隔制御装置他)						
	○防災行政無線設備火災保険料	41千円					
	○西山通信施設周辺草刈委託料	80千円					
	○防災行政無線定期検査委託料	315千円					
	○防災行政無線設備保守点検委託料	18,407千円					
	○戸別受信機設置等委託料	2,602千円					
	○防災行政無線敷地借上料(丹後町2か所 1,562㎡)	16千円					
	○電波利用料(同報系・移動系)	3,694千円					
	○防災行政無線等操作線関電柱共架料(網野町内)	3千円					
○無線従事者養成講習会受講経費(職員2人分)	99千円						
○西山通信施設電気代負担金(京都府施設借用分)	193千円						
○京丹後市アマチュア無線クラブ局再免許手数料	12千円						
※戸別受信機設置台数H26.3.31現在、単位:台)							
	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計
	4,808	2,973	4,508	2,481	1,809	3,282	19,861
主な財源	繰入金 地域振興基金繰入金			14,000千円			
評価・課題等	○定期的な保守点検や修繕等を行い、適正な維持管理に努めることで、有事の際に迅速かつ的確な情報を市民に周知することに努めた。 ○市内でアナログ式である峰山町及び網野町内の無線設備を、国の通達に従いデジタル化を検討する必要がある。						
事業所管課	企画総務部／総務課						

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	01防災会議運営事業
細事業名	01 防災会議運営事業			決算書 P.292
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
36千円	36千円	0千円	100.0%	234千円
目的	地域防災計画を作成し、及びその実施を推進するほか、地域に係る防災に関する重要事項を審議する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成23年度に着手した京丹後市地域防災計画原子力災害対策編及び原子力災害住民避難計画の策定について、審議を行った。</p> <p>開催日時 平成25年4月22日  出席委員数 16人（委員報酬対象8人）  内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京丹後市地域防災計画原子力災害対策編の策定について</li> <li>・京丹後市原子力災害住民避難計画の策定について</li> </ul> <p>○防災会議委員報酬 32千円  ・8人×4千円</p> <p>○費用弁償 4千円  ・8人</p>			
主な財源				
評価・課題等	○原子力災害が発生した場合の住民の生命及び身体を保護する計画が策定できた。 ○国の災害対策指針、基準等が見直された場合、適宜、防災計画の見直しを行う必要がある。			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	05災害支援対策経費
細事業名	01 災害支援対策経費			決算書 P.292
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
605千円	615千円	10千円	98.3%	0千円
目的	平成25年9月発生 of 台風18号や平成23年3月発生 of 東日本大震災に伴い、被災地への災害支援を実施する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>災害支援活動のための職員派遣に要する経費のほか、災害ボランティア派遣に係るバス運行の委託や復興支援物資の送付などの経費を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○職員出張旅費 171千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風18号災害に係る被害家屋調査派遣職員旅費（福知山市） 14千円</li> <li>・職員派遣旅費・移転料 157千円 （陸前高田市役所に1人派遣：H26年度派遣分）</li> </ul> </li> <li>○マイクロバス運行委託料 15千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風18号災害でのボランティア派遣（福知山市：1日間、23人）</li> </ul> </li> <li>○東日本大震災追悼式、陸前高田市復幸応援センター閉鎖式出席 418千円 に係る経費 ※平成26年3月9日（日）開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員旅費（4人） 384千円</li> <li>・公用車燃料代（京丹後市～伊丹空港） 3千円</li> <li>・レンタカー借り上げ料（花巻空港～陸前高田市） 22千円</li> <li>・有料道路通行料 5千円</li> <li>・駐車場使用料 4千円</li> </ul> </li> <li>○復興支援物品送料 1千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国青年市長会「『音楽の力』で復幸（復興）応援プロジェクト」に係る音楽CD送料（陸前高田市 82枚送付）</li> </ul> </li> </ul>			
主な財源				
評価・課題等	被災地への災害支援により、被災地の復興に寄与することができた。			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	50災害対策一般経費
細事業名	01 災害対策一般経費			決算書 P.294
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
23,630千円	24,501千円	871千円	96.4 %	13,385千円
目的	備蓄物資の購入や各種防災用機器の維持管理を行い、災害に備える。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>災害時に備えた備蓄物資の購入、各種防災用機器の維持管理に要する経費のほか、自主防災組織育成の補助金など、災害対策に当たる一般経費を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○職員人件費 8,279千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害本部設置による職員の時間外・休日勤務手当ほか</li> <li>大雨(7/28、8/1、8/5、9/3)、台風(15号、18号、27号)</li> </ul> </li> <li>○職員出張経費(旅費・有料道路通行料) 70千円</li> <li>○災害対策用備蓄物資及びその他消耗品、燃料、備品等購入 3,493千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛布80枚、アルファ米12,000食、水10,925本、</li> <li>雨量計用紙、ブルーシート、ネットワークプリンタ、消火器ほか</li> </ul> </li> <li>○台風18号による避難所開設に係る食糧費(網野町・丹後町) 22千円</li> <li>○電気・電話代等(箱石防災備蓄倉庫、冠水警報通報装置) 177千円</li> <li>○防災設備等修繕料(箱石防災備蓄倉庫蛍光灯交換) 69千円</li> <li>○手数料・保険料(廃消火器処理、水質検査、廃油処理等) 125千円</li> <li>○弥栄町防災倉庫譲渡に係る境界画定測量委託料 84千円</li> <li>○箱石備蓄倉庫消防設備保守点検 80千円</li> <li>○雨量観測装置、冠水通報装置保守管理 82千円</li> <li>○京都府防災情報システム保守業務委託 281千円</li> <li>○災害対応工事 9,283千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・丹後町徳光土砂撤去、峰山町五箇さつき園土のう撤去、</li> <li>増長院敷地法面土砂等撤去工事、西山林道修繕工事等</li> </ul> </li> <li>○土地借上料、アマチュア無線局電波利用料 10千円</li> <li>○災害対策土のう用山土等原材料費 179千円</li> <li>○自主防災組織資機材購入補助金(30団体) 1,336千円</li> <li>○負担金(府水難救済会負担金、丹後広域危険物安全協会負担金ほか) 60千円</li> </ul>			
主な財源	国補	地域の元気臨時交付金		1,500千円
	府補	未来づくり交付金(自主防災組織支援事業補助金)		600千円
	繰入金	災害対策基金繰入金		3,000千円
	諸収入	西山林道災害復旧事業費分担金		2,635千円
評価・課題等	<p>○前年度に比べ、災害発生が多く職員人件費が増大したが、引き続き職員参集体制の見直し、適正な人員配置を検討する。</p> <p>○地域にぎわい創り推進員と協力して自主防災組織の設立推進に取り組み、組織の増加(16行政区で新規に設置)につながったが、引き続き未設置の地区での設立推進に取り組んでいく必要がある。</p>			
事業所管課	企画総務部/総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	50災害対策一般経費		
細事業名	01 災害対策一般経費（繰越）				決算書	P.296
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市		計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 繰越予算額		
1,993千円	1,993千円	0千円	100.0%	1,993千円		
目的	隣接県の原子力災害を想定した地域防災計画（原子力災害対策編）を策定し、市民及び行政機関の防災力の向上と防災対策の推進に資する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○地域防災計画（原子力災害編・住民避難計画）策定業務委託 1,993千円					
主な財源						
評価・課題等	地域防災計画（原子力災害対策編）を策定することにより、市民及び行政機関の防災力の向上を図ることができた。					
事業所管課	企画総務部／総務課					